



中川原の住人 M・F

随想 想いふける

歳をとったということなのだろう。一年があつという間に過ぎ去っていく。妻は「冬ソナ」の放送を待ち遠しがっている。自分には週一回のテレビ番組がやって来るのが、妙に速い。子どもたちには愚痴っぽくなったと言われる。聞けば、エジプトの昔から「近頃の若い者は」と言っていたらしい。自分が、いつしか言う側になっていくことに気づく。

ふと祇園祭のニュースが流れてきた。耳を傾ける。二十余年前の学生時代の空気が蘇る。忘れかかっていた友の顔が浮かぶ。元気でいるだろうか。同じように歳をとったのだろうか。顧みて自分はどうなのか。純粹だった? 気持ちと貫禄が付き過ぎた体型とを除けば、何も大して変化がない。会えば、昔の呼び名で昔と同じ会話をするだろう。同じ時を過ごした仲間は無性に会いたくなる。

山鉾巡行が始まったのか、コンチキチンの音。「祇園精舎の鐘の声」が浮かぶ。響きが良く、好きなフレーズだ。授業で暗記させられたにしても、心地よい文句である。若かりし頃は、盛者必衰が自然なことに思えた。近頃は、受け取り方が変わってきた。「遠く異朝をとぶらへば」の下りでは、国政が乱れれば「猛き者も遂には滅びぬ」と教えてくれている。子どもたちの将来を考えると、日本もまだまだ衰退してもらおうわけにはいかない。動物の進化と同じく、社会も淘汰され進化していくものだろう。しかし日本も「兵

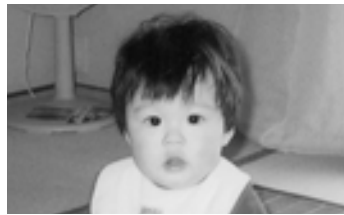
どもが夢の跡」となるなら、これからの世代に申し訳ない。斜陽を迎えるには早過ぎる。と年寄りじみた心配をする。熱風が吹き込む。地球温暖化のせいかな年々暑さが増すようだ。随分時間が過ぎた気がする。テレビは、平安の昔と同じにゆっくりと巡行する山鉾を映している。

1歳ですよろしく



元気で大らかに育ってね。

しろきやまと
代木大和くん
(西古泉)
平成15年9月8日
父 謙太さん
母 麻美さん



明るく優しい子に育ってね。

おかだひめな
岡田姫奈ちゃん
(西古泉)
平成15年9月27日
父 司さん
母 優子さん



いつも笑顔をお願い。いつまでも2人仲良くね。

ほそかわしほ
細川志帆ちゃん
まほちゃん
(筒井)
平成15年9月22日
父 晴仁さん
母 由恵さん



元気いっぱい育ってね。未悠と仲良くね。

やまもとゆうだい
山本悠太くん
(恵久美)
平成15年9月11日
父 哲也さん
母 亜紀さん



元気で明るく優しい子に育ってね。

ながみゆうた
永見侑大くん
(本村)
平成15年9月13日
父 邦久さん
母 みゆきさん



元気にたくましく育ってね。

みやうちゆうり
宮内悠利くん
(筒井)
平成15年9月23日
父 隆司さん
母 仁子さん

10月に1歳になられるお子さんの写真を募集しています。背景が明るい写真をお持ちのうえ、9月1日(水)~9日(木)の執務時間中に役場3階総務課秘書広報係へ(先着6名まで)。